台風説明会
台風第10号の影響について

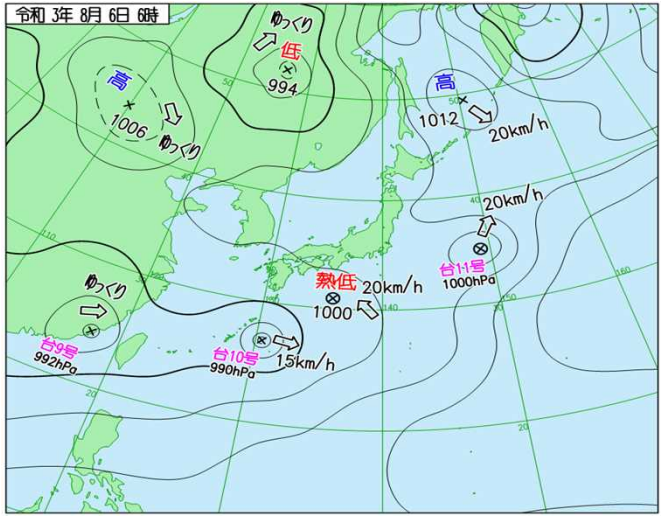
台風第10号説明会資料
2021.08.06.11時30分
岐阜地方気象台
観測予報管理官

台風の実況と今後の予想

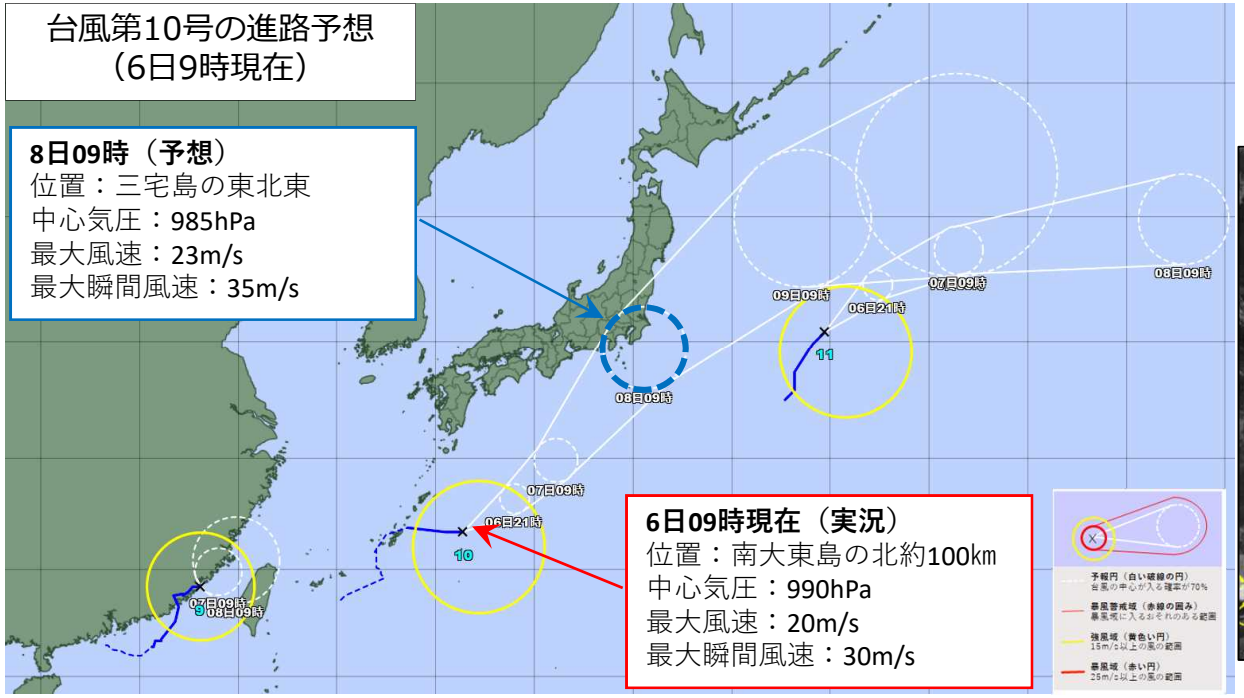
《台風第10号》
- 6日9時現在、南大東島の北海上を東進中。
- 今後、日本の南を北東に進み、7日から8日にかけて、東日本に接近する見込み。
- 現在の予想進路の中央を通った場合、東海道沖を通過。
- 岐阜県への最接近は、7日夜遅くから8日未明。

《台風第9号》
- 6日9時現在、台湾海峡にあって、東北東進。
- 8日9時までには、熱帯低気圧に変わる見込み。
- その後、西日本や東日本に接近する可能性がある。

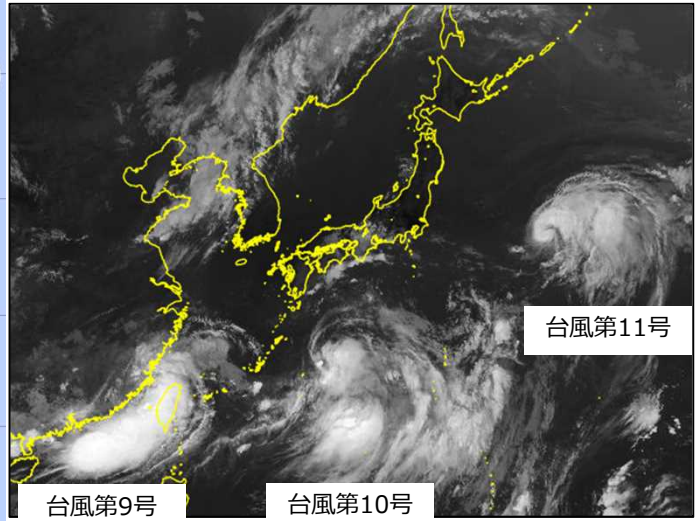
地上天気図　８月６日6時



台風第10号の進路予想
（6日9時現在）



気象衛星　赤外画像
８月６日10時00分



量的予想の見通し

《雨の予想》

・7日から8日にかけて、本州南海上の熱帯低気圧と台風第10号により、
大気の状態が不安定となるため、強い雨の降る時間がある。

・7日12時までの24時間降水量
多いところ　美濃地方　30ミリ
飛騨地方　40ミリ

・8日12時までの24時間降水量
多いところ　およそ50ミリ

《風の予想》

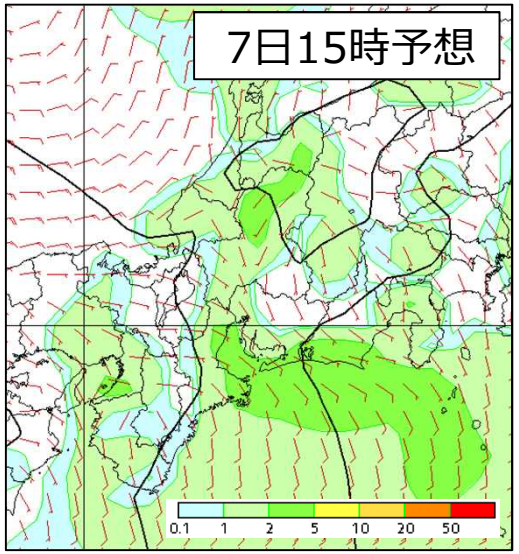
・8日は、やや強く（10メートル）吹く見込み。

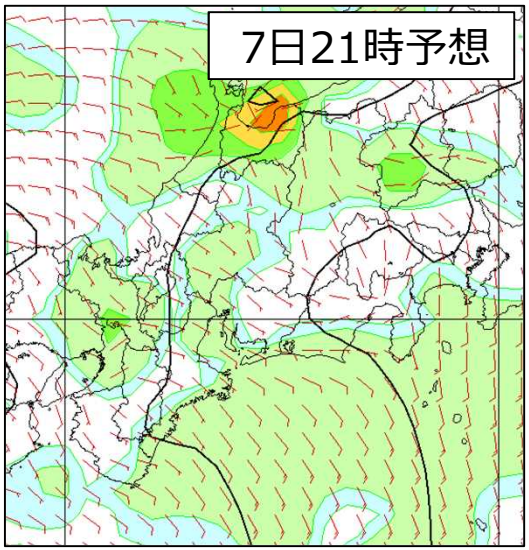
《注意報・警報の発表の見通し》

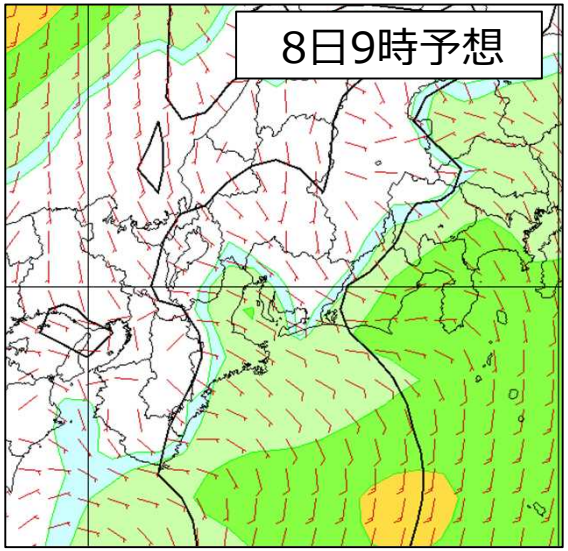
・7日と8日は、状況によっては、
岐阜・西濃及び東濃の山地の市町村に大雨注意報を発表する可能性あり。

台風第10号による雨の見通し

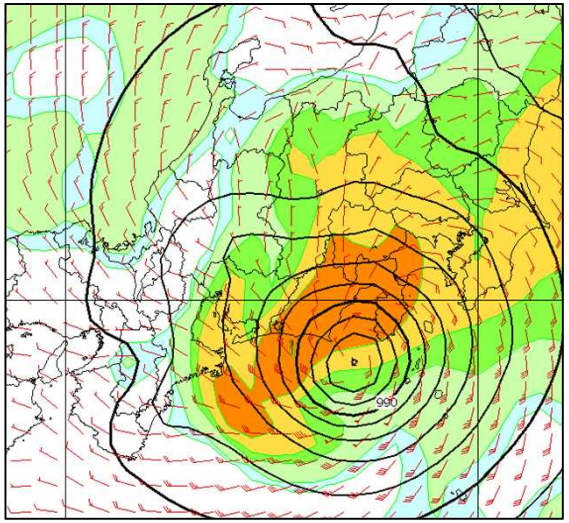
数値予報資料による今後の雨雲の様子（3時間降水量）







予報円の最も北寄りの
コースを通った場合



- 7日午後から8日日中にかけて、
  断続的に強い雨が降りやすい。
- 東寄りの風により、岐阜・西濃及び東濃の
  山地で降りやすい傾向がある。
- 台風が予報円の最も北側を通ると、
  美濃地方で警報級の大雨となる可能性がある。

まとめ

《防災事項》

・台風第10号による影響は、雨・風共に注意報以下の見込み。
但し、予報円の最も北側を通ると、
美濃地方で警報級の大雨になる可能性もある。
・台風第9号は、8日までには熱帯低気圧に変わる。
その後、西日本から東日本に接近し、
来週はその影響を受ける可能性がある。

《留意事項》

・現時点での予想資料に沿った見通しであり、
台風の進路や強さ、本州付近のタイミング等は、
予想に幅があるので、最新の気象情報や台風進路予想などを
ご利用ください。